

平成28年度事業報告書

特定非営利活動法人DOG DUCA

1 事業の実施の概略

特定非営利活動法人DOG DUCAは、愛知県内の名古屋市を中心に地域社会に対して、犬の保護と里親探し、人と犬との共存生活に関する事業を行い、衛生問題や飼育拒否等の問題の改善や解決を図り、犬を飼う方のモラルの向上と、人と犬のより良い共存生活の増進に寄与することを目的とし、次の事業を実施した。具体的には、本法人の定款第5条第1項第1号①の事業として、養護施設等でのアニマルセラピー事業を実施するとともに、第1号②の事業として、犬の保護と里親探し事業及び第1号③の事業として、犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙事業を実施した。

2 事業の成果

平成28年度は、平成27年5月28日に起きたドーベルマン噛みつき事件のドーベルマンの保護及び問題の改善について、特定非営利活動法人DOG DUCAは引き続き保護及び問題行動の改善活動を行い、その様子はテレビ局によって一年半の密着取材を受け、平成29年3月19日に1時間のドキュメンタリー番組として放送されました。内容については、ボランティア保護団体の動物愛護や殺処分ゼロを目指す活動内容であり、番組に登場した様々な方が、それぞれの立場に立って考えて頂くという放送でした。テレビ番組の放送後、この活動は、メディアで大々的に取り上げられ、改めて、犬のしつけ指導や育て方、動物愛護の大切さを伝える重要な機会になったと思いました。

犬の飼育拒否を含めた相談が136件ありました。そのうち98頭については、改善策・しつけの開始・飼い主の意識改善の結果、飼育拒否になることなく現在も生活を共にすることが出来ています。残りの38頭については、特定非営利活動法人DOG DUCAにて保護をしました。飼育拒否及び困難の大きな理由として昨年度に引き続き「飼い主である高齢者の死亡・入院」があります。飼い主である高齢者の死亡・入院の際、その身内にも引き取り手が見つからないという理由が最も多くありました。そのほか、犬に対しての愛情がなくなり、体罰・虐待をするといったケースもあり、その結果「噛み付いてしまう犬」になってしまった犬の保護も多かったです。保護をする犬も高齢犬が多く、里親譲渡が困難な犬が多い一年でしたが、それぞれのケースにあった問題の改善や解決を図り、36頭を里親譲渡し、犬と里親が幸せな第二の生活がおくれる活動をしました。残りの2頭を含み現在特定非営利活動法人DOG DUCAで保護している犬は24頭います。高齢や病気などの理由で最期まで特定非営利活動法人DOG DUCAで面倒をみることになります。

犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙活動については、教室への参加人数が118家族・156頭でした。参加されたご家族には、個別に問題ケースが異なるため。それぞれに必要なトレーニング法をお伝えすることが必要であり、問題行動について犬と人が一緒にになって解決することが出来ました。多数の飼育拒否等の問題を抱えている飼い主や周りに犬のいる環境にある一般市民に対して、飼育拒否等の解決や地域社会と人と犬との共存生活について理解を深める活動をしました。

養護施設等でのアニマルセラピー事業については、週一回様々な施設へ訪問を行い、施設の入所者やそのご家族などの一般市民を対象に、癒しや生きる希望を与えるとともに、犬の活躍や地域社会への貢献を知っていただく機会となる活動をしました。

当年度も動物愛護センター等と連携をとり事業を実施して参りましたが、環境省の公開する犬猫の引き取り及び負傷動物の収容状況については、年々殺処分数は減少している状況ですが、まだ問題点や今後の課題も見えてきています。そのため、これからも愛知県内の名古屋市を中心に地域社会に対して、犬の保護と里親探し、人と犬との共存生活に関する事業を行い、衛生問題や飼育拒否等の問題の改善や解決を図り、犬を飼う方のモラルの向上と、人と犬のより良い共存生活の増進に寄与することを目的とし、翌年度以降も事業にまい進していきます。

3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア 犬の適正なしつけ指導と普及と啓蒙事業

(ア) 事業内容

犬の適正なしつけ指導を通じて、地域社会でのマナーやモラル向上を深めるとともに、飼育拒否等の問題の現況、解決に向けた犬と人とのより良い共存生活講座を、もりやま犬とねこの病院において、一般市民を対象に無料で開催した。

(イ) 開催日時

もりやま犬とねこの病院開催・・・平成28年1月1日～平成28年12月31日の内、毎月約1回で年間12回

(ウ) 会場

もりやま犬とねこの病院

(エ) 講師及び従事者

講師高橋忍(本法人の理事)、会場設営・受付要員1名(DOG DUCA職員)

(オ) 受講者

124家族(犬の飼育拒否や犬の地域社会問題に関心を持ちそのモラル向上と普及及び啓蒙活動に関心のある一般市民)及び犬148頭

(カ) 費用

52,870円

(内訳)

資料コピー代30,870円、講師及び会場設営・受付要員旅費(延べ24名)12,000円、備品費10,000円

(エ) 収益

0円

イ 養護施設等でのアニマルセラピー事業

(ア) 事業内容

犬の処分問題に対する地域社会の理解・知識を広めるため、また高齢者入居施設への訪問を行い、社会福祉を通じて犬の社会貢献を推進する事業で、友愛病院他高齢者入居施設で一般市民を対象に無料で開催した。

(イ) 開催日時

平成28年1月1日～平成28年12月31日の内、週1回で年間50回程度

(ウ) 会場

老人ホーム樹樹及びデイサービス天神橋他(施設内病室及び待合室等)

(エ) 講師及び従事者

講師高橋忍(本法人の理事)、会場設営・受付要員1名(事務局職員)、名古屋ヨミ

ユニケーションアート専門学校学生スタッフ

(オ) 参加者

病院入院者及び施設入所者とその家族(犬の処分問題または、社会福祉を通じた犬の社会貢献に関心のある一般市民)

(カ) 費用

67,667円

(内訳)

講師及び会場設営・受付要員旅費(延べ40名)26,000円、訪問セラピー時の備品費 41,667円

(キ) 収益

0円

ウ 犬の保護と里親探し事業

(ア) 事業内容

捨てられて殺処分される犬を保護して預かり、地域社会を通じてその現状を発信することにより新しい里親を探し、人と犬とのより良い共存生活が可能な社会を再構築する手助け事業を、経常的に無料で行った。

(イ) 開催日時

平成28年1月1日～平成28年12月31日まで常時

(保護犬が里親へもらわれていくまで)…相談数136件、里親への譲渡頭数36頭、保護中の頭数24頭 合計60頭

(ウ) 会場

DOG DUCA事務所及び高橋忍(本法人の理事)自宅、里親預り会員各自宅

(エ) 講師及び従事者

高橋忍(本法人の理事)、DOG DUCA職員、里親預り会員58名

(オ) 対象犬

相談・保護された犬49頭(NPODOGDUCAにて引き取り:9頭)

(カ) 費用

747,644円

(内訳)

資料コピー代30,870円、動物病院代(年間)326,064円、トックフード代(年間)

390,710円

(キ) 収益

0円

③ 会議の開催に関する事項

平成28年2月28日 社員総会